

平成26年9月3日招集

茂原市議会定例会会議録（第1号）

議事日程（第1号）

平成26年9月3日（水）午前10時00分開会

第1 会議録署名議員の指名

第2 会期の決定

第3 認定案第1号から第7号並びに
議案第1号から第8号までの上程説明

第4 休会の件

茂原市議会定例会会議録（第1号）

平成26年9月3日（水）午前10時00分 開会

○議長（腰川日出夫君） おはようございます。ただいまから平成26年茂原市議会第3回定例会を開会します。

現在の出席議員は24名であります。したがって、定足数に達し会議は成立しました。

————— ☆ ————— ☆ —————

午前10時00分 開議

○議長（腰川日出夫君） 直ちに本日の会議を開きます。

————— ☆ ————— ☆ —————

議会運営委員会委員長の報告

○議長（腰川日出夫君） 最初に、今定例会の運営につき、閉会中に議会運営委員会を2回開会し、種々協議を行いましたので、その内容について議会運営委員会委員長から報告を求めます。

議会運営委員会委員長 初谷智津枝君。

（議会運営委員会委員長 初谷智津枝君登壇）

○議会運営委員会委員長（初谷智津枝君） 皆様、おはようございます。議会運営委員会の報告を申し上げます。

去る8月4日に招集告示されました平成26年第3回定例会の運営につきまして、8月4日及び27日に委員会を開催し、種々協議いたしましたので、その内容について御報告を申し上げます。

まず、会期については、認定案7件、議案8件並びに一般質問通告者11人を勘案し、本日から18日までの16日間とすることといたします。

次に、日程については、お手元に配付の日程表のとおりであります。本日は、会議録署名議員の指名、会期の決定、議案の上程説明を行います。

4日から9日までは議案等調査のため休会、10日、11日は一般質問をそれぞれ5人行い、12日は一般質問を1人行った後に、議案質疑後委員会付託を行うこととし、本会議終了後、各常任委員会の審査を行います。

質問順位は、くじにより配付資料のとおり決定いたしましたので、御了承願いたいと存じます。

なお、議案第8号につきましては、人事案件のため、委員会付託を省略することといたします。

認定案第1号「平成25年度茂原市一般会計歳入歳出決算認定」については、決算審査特別委員会を設置し、同委員会に付託の上、閉会中の継続審査とすることといたします。委員会は12人の委員で構成し、委員の選任は、委員会条例第8条第1項の規定により議長の指名といたします。

また、認定案第2号から第7号までの特別会計決算認定についても、所管委員会に付託の上、閉会中の継続審査といたします。

13日から17日までは報告書作成等のため休会、最終日18日は午後1時から本会議を開き、議案等に対する総括審議を行うことといたします。

以上、今定例会の運営に関する協議決定事項でありますので、議員各位の御理解、御協力をお願い申し上げ、報告を終わります。

○議長（腰川日出夫君） 以上で議会運営委員会委員長の報告を終わります。

————— ☆ ————— ☆ —————

諸 般 の 報 告

○議長（腰川日出夫君） 次に、諸般の報告をします。

報告の内容は、閉会中における議長の諸報告、公務報告、平成26年第2回定例会並びに第1回臨時会の会議録についてであります。いずれもお手元に配付してあるとおりであります。

次に、本日招集されました9月定例会の議案等説明のため、市長並びに関係行政機関に出席を求めたところ、お手元に配付してあるとおり出席報告がありました。

————— ☆ ————— ☆ —————

議 事 日 程

○議長（腰川日出夫君） 本日の議事日程は、既にお手元に配付してありますので、それにより御了承願います。

————— ☆ ————— ☆ —————

会議録署名議員の指名

○議長（腰川日出夫君） それでは、これより議事日程に基づき議事に入ります。

議事日程第1「会議録署名議員の指名」を行います。

本件については、会議規則第88条の規定により、議長が指名します。

会議録署名議員に

21番 初谷 智津枝 君

22番 竹本 正明 君

の2名を指名します。

————— ☆ ————— ☆ —————

会 期 の 決 定

○議長（腰川日出夫君） 次に、議事日程第2「会期の決定」を議題とします。

お諮りします。今定例会の会期は、議会運営委員会の協議に基づき、本日から18日までの16日間としたいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（腰川日出夫君） 御異議ないものと認めます。したがいまして、会期は本日から18日までの16日間とすることと決定しました。

————— ☆ ————— ☆ —————

議 長 の 報 告

○議長（腰川日出夫君） ここで報告します。本日、市長から今定例会に提出するための議案の送付があり、これを受取りお手元に配付しました。

また、地方自治法第233条第5項の規定により、平成25年度決算に係る主要な施策の成果を説明する書類並びに地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び同法第22条第1項の規定により、平成25年度決算の健全化判断比率及び資金不足比率についての書類が提出されました。

————— ☆ ————— ☆ —————

認定案第1号から第7号並びに議案第1号から第8号までの上程説明

○議長（腰川日出夫君） 次に、議事日程第3「認定案第1号から第7号並びに議案第1号から第8号までの上程説明」を議題といたします。

議案の上程については、認定案7件、議案8件を一括上程します。

市長から提案理由の説明を求めます。市長 田中豊彦君。

（市長 田中豊彦君登壇）

○市長（田中豊彦君） おはようございます。本日から、平成26年茂原市議会第3回定例会を開催することとなりました。議員各位におかれましては、大変お忙しいところ、まことに御苦労さまでございます。

それでは、議案の説明に入ります前に、諸般の報告をさせていただきます。

まず初めに、我が国の経済情勢でございますが、内閣府の月例経済報告によりますと、景気は緩やかな回復基調が続いており、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動も和らぎつつあるとされています。先行きについては、各種施策の効果が発現する中で緩やかに回復していくことが期待されるとしてはいますが、駆け込み需要の反動の長期化や海外景気の下振れなどが我が国の景気を下押しするリスクとなっています。

千葉県の月例経済報告では、県内の経済情勢は、有効求人倍率の改善傾向が続くなど景気は緩やかな回復基調が続いており、消費税率引き上げの影響が和らぎつつあるとされています。

政府は、「経済財政運営と改革の基本方針2014」に基づきまして経済財政運営を進めるとともに、「日本再興戦略 改定2014」の着実な実行により、デフレからの早期脱却を確実なものとし、持続的成長の実現に向けて全力で取り組むとしておりますので、私といたしましては、引き続き国・県の動向を注視し、景気の回復が本市経済へ波及することを期待しているところでございます。

続きまして、本市の状況について御報告いたします。

初めに、水害対策について申し上げます。

本年も局地的な大雨による災害が全国各地で発生しており、特に広島市、福知山市等では甚大な被害が発生いたしました。お亡くなりになられた方々に対しまして、心から御冥福をお祈りするとともに、被災されました方々におかれましては、日常生活が一日も早く平常に戻ることを願っているところであります。

本市におきましても、土砂災害の可能性のある危険箇所を早急に確認するよう指示をしたところであります。さらに、災害時の避難情報である「避難勧告」と「避難指示」を発令する際に、より確実に伝達するため、防災行政無線によりサイレンと音声を組み合わせて放送することとし、9月1日の「防災の日」に市内全域に訓練放送を実施いたしましたところであります。

今後、台風シーズンの到来を迎えますが、水害対策については、引き続きその取り組みを進めるよう改めて意を強くしたところでございます。

千葉県が早急に実施する対策として行った二級河川一宮川の整備につきましては、河道内の堆積土の撤去やメダケの伐採、土のう積みによる堤防の嵩上げが完了いたしました。

また、本市が実施する内水対策につきましても、準用河川梅田川及び鹿島川の河道内の堆積土撤去が完了いたしました。

このほかに、9月末の完了を目指して鹿島川の堤防嵩上げなど3カ所の内水対策工事を鋭意進めているところでございます。

河川以外での対策といたしましては、農業用施設である「ため池や水田」の貯水機能を有効に活用することにより、防災・減災力の強化に取り組んでおります。

ため池については、大雨に備え、総貯水量約5000トン以上の23カ所において、非かんがい期にあたる8月の中旬から水位を下げる体制を地元管理団体と協定を結びまして、その管理に努めていただいております。

また、水田につきましても、排水量を調整していただき、大雨時には水田に「貯水」していただけるよう、農業者団体の会議や説明会等において周知を図っており、引き続き御協力をお願いしているところでございます。

さらに、一般住宅等におきましても、費用の一部を補助することにより貯水タンク、雨水浸透枳の設置を促進し、河川等に流れ出る雨水の流出抑制を図ってまいります。

次に、茂原七夕まつりについて申し上げます。

今年の茂原七夕まつりは、「天の川 暦巡りて 夢あらた」と題しまして、7月25日から27日の3日間の日程で開催いたしました。例年よりも多くの竹飾りや七夕装飾が華やかに彩られ、また、天候にも恵まれたことから、過去最高の来場者数となる88万人の人出で賑わいました。

第60回記念事業といたしまして、初代茂原市観光大使に本市出身タレントの相川友希さんを任命し、モバリんのテーマソングやダンスの発表をいたしました。また、新たな七夕まつりの会場として、アスモ前の「あかね通り」において各種イベントを開催するなど新しい企画を積極的に実施し、さらに記念式典には森田千葉県知事をお招きし、大いに盛り上げることができました。

今回の開催にあたりまして御協力いただきました市議会、茂原警察署、消防団及び市内企業の皆様方、また、御参加いただきました多くの市民の皆様にご心より感謝を申し上げます。

次に、国際交流について申し上げます。

七夕まつり開催にあわせ、7月24日から30日の日程で姉妹都市のソルズベリー市よりオールドリッジ市長をはじめとする16名の訪問団をお迎えいたしました。初日に開催された歓迎会には、議員各位をはじめ、商工会議所及び国際交流協会の関係者の皆様や、市民の方々にも多数御参加いただき、訪問団一行に心を込めた「おもてなし」をすることができました。

滞在中は七夕まつりの各種イベントに御参加いただき、その場を華やかに盛り上げていただきました。また、市内の企業訪問を通じ、本市の産業について理解を深めていただいたほか、書道、剣道といった日本伝統文化を紹介することができ、訪問団の皆様が日本の産業や伝統文

化に大変興味を持っている様子を拝見することができました。

今回の交流により、今後、両市の友好関係がさらに発展することを心から願うものであります。

次に、教育文化について申し上げます。

新図書館につきましては、長い間御不便をおかけしておりましたが、7月20日にオープンいたしました。オープンセレモニーは、議員各位をはじめ、教育委員、図書館協議会委員並びに市民の皆様の御出席をいただき、盛大に開館することができました。初日は1056名が来館され、改めて市民の皆様の図書館に対する思いを感じた次第でございます。

オープンから1か月が経過した状況といたしましては、1日に約600名が来館されており、再開した市外利用者への貸出につきましても、既に200名が登録されております。

新図書館は、約10万9000冊の図書が置かれ、明るく、広々とした空間は、とても気持ちよく御利用いただけたと思っております。

今後も多くの方々に利用していただけるよう、新しい図書の充実等サービスの向上に努めてまいります。

次に、健康福祉について申し上げます。

高齢者福祉につきましては、第5期介護保険事業計画に基づきまして、地域包括ケアシステムの構築に向け、10月から「茂原市ほんのう地域包括支援センター」を開設できるよう、その準備を進めております。

今後も、お年寄りの方々が住み慣れた地域に安心して暮らし続けられるよう、高齢者福祉の充実に努めてまいります。

生活福祉につきましては、消費税率引き上げに伴う低所得者や子育て世帯への影響を緩和するため、臨時的な措置として実施している「臨時福祉給付金」・「子育て世帯臨時特例給付金」の申請を7月1日から受け付けております。8月末時点で臨時福祉給付金では8443人分を、子育て世帯臨時特例給付金では6732人分の支給を行ったところであります。この2つの給付金につきましては、10月1日までを受付期間としておりますので、今後も円滑に事務を進めてまいります。

保健医療につきましては、予防接種法施行令等の一部改正によりまして、10月から水痘ワクチンと高齢者肺炎球菌ワクチンが新たに定期接種化されることとなりましたので、地元医師会との連携を図り、効果的な実施に努めてまいります。

また、高齢者肺炎球菌ワクチンにつきましては、今回の定期接種化にあわせて、市独自で行

っております任意接種助成事業の助成対象年齢を75歳以上から65歳以上に引き下げ、肺炎球菌を起因とする疾病予防対策に一層努めてまいります。

次に、産業振興について申し上げます。

「茂原にはる工業団地」につきましては、7月下旬より実施設計に入り、これにより造成工事が平成27年度早期に発注される見通しとなりました。

企業誘致活動につきましては、7月に都内の住宅総合メーカーの本社を訪問し、圏央道の開通による利便性から、千葉県「内陸部」への進出について検討する旨のお話を伺うことができました。

また、7月に株式会社ジャパンディスプレイ本社を訪問し、大塚社長とお会いした際に、今後も茂原工場に設備投資を続けるとの話を伺うことができ、税収の確保、雇用の創出につながるものと期待をしているところでございます。

茂原市メガソーラー設置事業につきましては、8月21日に太陽光発電事業を開始し、8月28日に落成式・発電開所式が執り行われました。年間発電量につきましては、一般家庭の約500世帯分の年間使用量に相当する約164万5000キロワット時を見込んでおります。

さて、本定例会に御提案申し上げます案件は、認定案7件、補正予算案2件、条例の新規制定案3件、条例の一部改正案2件、その他の案件1件の合計15案件でございます。

まず、認定案第1号から認定案第7号までは、平成25年度の一般会計及び各特別会計の決算の認定でございます。

一般会計につきましては、歳入総額は291億9128万7000円、歳出総額は277億5832万4000円となり、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は11億5681万円の黒字決算となりました。また、特別会計につきましても順調な決算となりました。

これもひとえに議員各位、市民の皆様方の御理解、御協力の賜物と深く感謝を申し上げる次第であります。

次に、議案第1号及び第2号は、平成26年度茂原市一般会計及び特別会計の補正予算でございます。

議案第1号「平成26年度茂原市一般会計補正予算（第4号）」は、歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億2586万1000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ289億3444万6000円にしようとするものでございます。

議案第2号「平成26年度茂原市特別会計介護保険事業費補正予算（第1号）」は、歳入歳出予算の総額からそれぞれ43万1000円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ61億1744万円に

しようとするものでございます。

次に、議案第3号「茂原市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について」、議案第4号「茂原市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について」、議案第5号「茂原市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について」御説明申し上げます。

本3案は、平成24年8月に公布された、いわゆる「子ども・子育て関連3法」に基づく「子ども・子育て支援新制度」に関し、本市の必要な基準等を定める条例を制定しようとするものでございます。

次に、議案第6号「茂原市自転車駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について」御説明申し上げます。

本案は、利用者の利便性向上のためJR茂原駅の始発電車、終電車に合わせ、自転車駐車場の使用時間を改正しようとするものでございます。

次に、議案第7号「茂原市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について」御説明申し上げます。

本案は、条例中の引用法令の一部が改正となりましたので、所要の改正をしようとするものでございます。

次に、議案第8号「教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて」御説明申し上げます。

本案は、現委員の齋藤 晟氏の任期が9月30日をもって満了となることから、引き続き同氏を委員に任命いたしたく、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定によりまして、議会の同意を求めようとするものでございます。

以上が、本定例会に提案しております15案件の概要でございます。詳細につきましては、それぞれの担当部長から説明させますので、よろしく御審議を賜り、御可決くださいますようお願い申し上げます。

私からは以上でございます。よろしく申し上げます。

○議長（腰川日出夫君） 企画財政部長 三浦幸二君。

（企画財政部長 三浦幸二君登壇）

○企画財政部長（三浦幸二君） 企画財政部所管に関わります認定案第1号及び議案第1号につきまして御説明申し上げます。

初めに、認定案第1号「平成25年度茂原市一般会計歳入歳出決算」について御説明申し上げ

ます。

歳入総額は291億9128万7026円、歳出総額は277億5832万4499円で、歳入歳出差引額は14億3296万2527円の黒字決算となりました。

次に、実質収支に関する調書をごらんください。

3. 歳入歳出差引額14億3296万3000円から4. 翌年度へ繰り越すべき財源2億7615万3000円を差し引いた5. 実質収支額につきましても11億5681万円となり、黒字決算となりました。

6. 実質収支額のうち地方自治法第233条2の規定による基金繰入額につきましては、6億円を基金編入いたしました。

このことにより、前年度繰越金は5億5681万円となりました。

また、決算規模を前年度と比較いたしますと、歳入におきましては、学校施設環境改善交付金の増等による国庫支出金の増があるものの、第三セクター等改革推進債の皆減等による市債の減や、大手企業の撤退に伴う固定資産税の減収による市税の減等によりまして112億4106万6994円、27.8%の減となりました。

一方、歳出におきましては、小・中学校施設整備事業の増や第三セクター等改革推進債元利償還金の増等による公債費の増等があるものの、土地開発公社解散に伴う借入金の代位弁済の皆減や職員給与の削減等による人件費の減等によりまして113億8499万5242円、29.1%の減となりました。

次に、歳出の概要につきまして申し上げます。平成25年度主要施策の成果により御報告させていただきます。

初めに、教育文化でございます。教育環境の整備といたしまして、小中学校の耐震補強工事等で11億2051万円余を、特別支援教育の充実といたしまして、小学校では緊急雇用創出事業の活用も含め12校への特別支援教育支援員の配置で1503万円余を、中学校では緊急雇用創出事業の活用も含め4校への特別支援教育支援員の配置で518万円余をそれぞれ執行いたしました。

次に、健康福祉でございます。児童福祉の充実といたしまして、児童手当支給事業で12億9844万円余を、高齢者福祉の充実といたしまして、小規模特別養護老人ホーム及び小規模多機能型居宅介護施設を整備する事業者に対し2億1022万円を、障害者福祉の充実といたしまして、介護給付事業で7億6776万円余を、低所得者福祉の推進といたしまして、670保護世帯への生活保護扶助費で14億9810万円余を、成人保健事業の充実といたしまして、がん検診など健康診査事業で7660万円余を、母子保健事業の充実といたしまして、子ども医療費助成事業で1億8915万円余をそれぞれ執行いたしました。

次に、生活環境でございます。生活道路の整備といたしまして、折戸橋ほか31橋の耐震補強設計業務委託、2カ所の路面性状調査業務委託、渋谷地先のトンネル調査点検業務委託、43件の道路補修工事、24橋の橋梁耐震補強工事など、道路橋梁維持補修費で3億5163万円余を、10路線の道路改良事業で4616万円余を、12路線の道路舗装新設工事等で979万円余を、公共下水道の整備といたしまして、川中島終末処理場長寿命化工事、東部台地区污水管渠工事等で1億7598万円余を、防災体制の充実といたしまして、防災行政無線のデジタル化工事で6195万円余を、交通安全対策の推進といたしまして、通学路を中心とした自転車歩行車道の整備で1億3505万円余をそれぞれ執行いたしました。

次に、都市基盤でございます。秩序ある市街地整備の推進といたしまして、茂原駅前通り地区土地区画整理事業で1億5875万円余を、道路網の整備といたしまして、桑原梅田線等の街路事業費で1587万円余を、バス輸送の整備といたしまして、茂原市地域公共交通計画に基づき、市民バスやデマンド交通の3年間の実証運行を開始するなど、地域公共交通運行事業で1671万円をそれぞれ執行いたしました。

次に、産業振興でございます。生産基盤の整備といたしまして、県営かんがい排水事業で2612万円を、ため池等整備事業で360万円余を、経営の近代化促進といたしまして、中小企業資金融資事業で5億5910万円余を、観光資源の整備といたしまして、茂原七夕まつり事業で908万円余を、マスコットキャラクターPR事業及びマスコットキャラクター入りナンバー交付事業で290万円余をそれぞれ執行いたしました。

次に、市民自治でございます。行財政改革の推進といたしまして、納税者の利便性の向上を図ったコンビニ収納業務委託料で365万円余を、時代潮流にあわせた行政の推進といたしまして、自治基本条例を考える市民の会の開催など自治基本条例策定事業で33万円をそれぞれ執行いたしました。

以上、概要について申し上げましたが、本案につきましては、監査委員の意見書を付してございます。決算審査の過程におきましても御意見、御指導いただいておりますので、それらを十分留意いたしまして、市民福祉の向上に一層の努力をまいります。

次に、財政健全化法の健全化判断比率及び資金不足比率につきまして御説明申し上げます。

初めに、健全化判断比率ですが、実質赤字比率及び連結実質赤字比率は、黒字のため該当がありませんでした。

実質公債費比率は前年度より2.1ポイント低下し14.5%、将来負担比率は前年度より24.8ポイント低下し143.5%で、いずれも早期健全化基準を下回っております。

また、資金不足比率につきましては、下水道事業会計、農業集落排水事業会計のいずれも黒字のため、該当ありませんでした。

続きまして、議案第1号「平成26年度茂原市一般会計補正予算（第4号）」につきまして御説明申し上げます。

本案は、歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億2586万1000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ289億3444万6000円にしようとするものです。

その主な内容を歳出より申し上げます。

2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費の社会保障・税番号制度システム整備事業は、社会保障・税番号制度の運用開始に備えシステム改修等に548万5000円を、同じく1目一般管理費の公共施設等総合管理計画策定事業は、公共施設等の全体の状況を把握・整理して、地域の実情に合った公共施設等の配置を実現するため、委託料に464万4000円をそれぞれ追加し、10目広域行政費の広域行政事業は、長生郡市広域市町村圏組合において、総合事務組合への退職手当負担金の累計収支が基準額を超える黒字となっていることから、本年度より5年間支払う必要がなくなったため、広域市町村圏組合負担金のうち740万7000円を減額するものでございます。

3款民生費、2項児童福祉費、1目児童福祉総務費の私立保育園等運営費補助事業は、国及び県の保育士等処遇改善臨時事業の実施に伴い、保育士等処遇改善臨時特例事業補助金等に749万4000円を、4目保育所費の公立保育所維持管理費は、五郷保育所及び鶴枝保育所の屋根改修工事等に875万7000円をそれぞれ追加するものでございます。

4款衛生費、1項保健衛生費、2目予防費の高齢者肺炎球菌予防接種助成事業は、予防接種法に基づく定期接種に高齢者肺炎球菌ワクチンが本年10月1日より位置づけられること等により1434万3000円を、7目公害対策費の住宅用太陽光発電設備設置奨励事業は、県補助金の追加配分により太陽光発電設備設置補助金に144万3000円をそれぞれ追加するものでございます。

2項清掃費、2目塵芥処理費の長生郡市広域市町村圏組合清掃事業負担金につきましても、退職手当負担金に係る同組合負担金のうち1172万3000円を減額するものでございます。

5款農林水産業費、1項農業費、3目農業振興費の用排水施設維持管理費は、水路の草刈りなど農村環境の向上に資する活動を地域ぐるみで行う活動組織に対して交付する千葉県農地・水保全管理支払交付金等に710万5000円を、5目土地改良事業費の用排水施設整備事業は、6月の大雨等により農業用排水路の法面が崩落等したため、用排水施設整備工事に238万1000円をそれぞれ追加するものでございます。

7款土木費、1項道路橋梁費、4目交通安全施設費の交通安全施設管理費は、道路の区画線補修など交通安全施設等整備工事等に1102万5000円を、2項河川費、1目河川総務費の水防事業は、一宮川浸水対策検討の場の今後の対策の一つとして、雨水流出抑制を図るために新たに雨水貯留槽または雨水浸透枿を設置した所有者に対して交付する雨水貯留施設等設置工事補助金に225万円を、2目排水整備費の内水対策関連事業は、昨年発生した台風26号の大雨に伴う浸水被害地区の早期解消を図るため排水計画検討業務委託等に1414万9000円を、3項都市計画費、2目街路事業費の街路事業費は、都市計画道路小林浜町線の街路事業用地購入費等に3841万2000円をそれぞれ追加するものでございます。

8款消防費、1項消防費、1目消防費の消防費負担金につきましても、退職手当負担金に係る同組合負担金のうち1億1652万7000円を減額するものでございます。

9款教育費、2項小学校費、1目学校管理費の小学校管理補修費は、屋上防水改修工事、火災受信機更新工事、屋内消火栓設備改修工事など各小学校補修工事に3624万2000円を、3項中学校費、1目学校管理費の中学校管理補修費は、屋内運動場他防水改修工事、警報装置修繕、パソコン室空調機修繕など各中学校補修工事に3360万円を、4項幼稚園費、1目幼稚園費の教育扶助費は、幼稚園在園児保護者の経済的負担軽減のため対象者を拡充し、幼稚園就園奨励費補助金に1157万5000円をそれぞれ追加するものでございます。

次に、歳入の概要について申し上げます。

1款市税は、企業の大幅な設備投資があったことにより、固定資産税の償却資産1億6525万6000円を追加するものでございます。

10款地方交付税は、普通交付税額が確定したことにより3億53万9000円を追加するものでございます。

14款国庫支出金は、保育緊急確保事業費補助金、就園奨励費補助金等の増により1698万8000円を追加するものでございます。

15款県支出金は、千葉県住宅用省エネルギー設備等導入促進事業補助金の増等により96万8000円を追加するものでございます。

19款繰越金は、所要一般財源として前年度繰越金6301万円を追加し、対応しようとするものでございます。

21款市債は、街路事業等土木債の増と臨時財政対策債の減により4億2090万円を減額するものでございます。

次に、第2表債務負担行為補正について申し上げます。

公共施設等総合管理計画策定事業について、平成27年度から28年度まで2116万9000円の債務負担行為を追加するものでございます。

最後に、第3表地方債補正について申し上げます。

道路整備事業、内排水対策関連施設整備事業、街路整備事業、臨時財政対策について、事業費等にあわせて限度額の変更をしようとするものでございます。

以上、企画財政部所管に関わります認定案第1号及び議案第1号について御説明をいたしました。よろしく御審議の上、御承認、御可決賜りますようお願い申し上げます。

○議長（腰川日出夫君） 市民部長 矢澤邦公君。

（市民部長 矢澤邦公君登壇）

○市民部長（矢澤邦公君） 市民部所管に関わります認定案第2号及び第7号、並びに議案第6号について御説明申し上げます。

初めに、認定案第2号「平成25年度茂原市特別会計国民健康保険事業費歳入歳出決算について」御説明申し上げます。

本案は、歳入総額117億5232万7110円に対しまして、歳出総額107億2142万5060円で、歳入歳出差引額10億3090万2050円の黒字決算となりました。

歳入の主な内容から御説明申し上げます。

1款国民健康保険税は、収入済額29億6424万5229円で、前年度比941万6708円、0.32%の減となりました。収納率ですが、現年課税分が88.37%で、前年比0.43ポイントの増となり、滞納繰越分は17.36%で、3.81ポイントの増となりました。

3款国庫支出金は、1項国庫負担金として19億4693万5228円が交付されました。前年比8662万1106円の増でございます。主なものは、療養給付費等負担金で、一般被保険者の医療費、後期高齢者医療費支援金及び介護納付金に対する国庫負担分でございます。

また、2項国庫補助金として、各保険者間の国保の財政力に対する財政調整交付金4億8753万6000円、高齢者医療制度円滑運営事業費補助金87万6000円など、合わせて4億8875万7000円でございます。

4款療養給付費等交付金は、5億5213万9271円が交付されました。これは、退職被保険者の療養給付費や高齢者医療制度負担相当分に対する社会保険診療報酬支払基金からの交付金でございます。

5款の前期高齢者交付金は、25億1896万9505円が交付されました。これは65歳から74歳までの被保険者の医療費に対する社会保険診療報酬支払基金からの交付金でございます。

6 款の県支出金は、5 億8920万4883円が交付されました。主なものは、高額医療費共同事業負担金及び財政調整交付金でございます。

7 款の共同事業交付金は、高額な医療に対し県全体で支え合うための交付金で、10億3125万4614円が交付されました。

9 款繰入金は、5 億6050万7000円で、主な内訳は、一般会計繰入金 1 億9671万8000円、保険基盤安定繰入金 3 億6378万9000円でございます。

続きまして、歳出の主な内容につきまして御説明申し上げます。

1 款総務費は、1 億6917万3398円で、一般職の人件費及び保険税賦課徴収事務費が主なものでございます。

2 款保険給付費は、支出済額が69億6284万379円で、対前年度比3868万9866円、0.56%の増となりました。保険給付費の主なものといたしましては、一般被保険者療養給付費が57億446万6818円、退職被保険者療養給付費が 4 億4460万8488円、一般被保険者高額療養費が 6 億1719万1318円でございます。

3 款後期高齢者支援金等は、支出済額15億547万8227円で、後期高齢者医療制度の安定的運営のため、社会保険診療報酬支払基金へ拠出するものでございます。

6 款介護納付金は、支出済額 6 億6174万7144円で、40歳から64歳までの第 2 号被保険者に係る介護保険給付に対する負担金でございます。

8 款保健事業費は、支出済額9503万3591円でございます。主なものは、特定健康診査等に要する費用と人間ドック助成事業に要する費用でございます。

9 款基金積立金は、財政調整基金に 2 億円の積立を行ったものでございます。これにより、財政調整基金総額は、3 億5115万3000円となっております。

以上が「平成25年度茂原市特別会計国民健康保険事業費歳入歳出決算」の概要でございます。

国民健康保険は、社会保障の中核をなす医療保障制度の中でも等しく必要な医療を受けることができる国民皆保険を支える基盤となっております。しかしながら、保険給付費や後期高齢者医療を支える支援金、介護保険の納付金が増加傾向にあり、厳しい財政運営を強いられているのが実情でございます。このようなことから、今後とも被保険者の資格、医療費の適正化を図り、事業の健全な運営に努めてまいりたいと考えております。

次に、認定案第 7 号「平成25年度茂原市特別会計後期高齢者医療事業費歳入歳出決算について」御説明申し上げます。

本案は、歳入総額 8 億3714万2918円に対しまして、歳出総額 8 億2591万6261円で、歳入歳出

差引額は1122万6657円の黒字決算となりました。

歳入の主な内容から御説明申し上げます。

1 款後期高齢者医療保険料につきましては、収入済額は6億2557万8200円でございます。

3 款繰入金につきましては、事務費繰入金6219万4651円、保険基盤安定繰入金1億3630万3220円で、合わせて1億9849万7871円でございます。

続きまして、歳出の主な内容につきまして御説明申し上げます。

1 款総務費は、4294万7279円で、一般職人件費及び事務費が主なものでございます。

2 款後期高齢者医療広域連合納付金は、支出済額7億8179万8582円で、千葉県後期高齢者医療広域連合へ納付するものでございます。

以上が「平成25年度茂原市特別会計後期高齢者医療事業費歳入歳出決算」の概要でございます。

次に、議案第6号「茂原市自転車駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について」御説明申し上げます。

本案は、市内7カ所に設置しております自転車駐車場の使用時間について、利用者の利便性向上のため、JR茂原駅の始発電車、終電車に合わせ、現行の「午前6時から午後12時まで」を、平成27年1月1日から「午前4時45分から翌日の午前0時45分まで」に改正しようとするものでございます。

以上、市民部所管に関わります認定案2件、議案1件につきまして御説明させていただきました。よろしく御審議の上、御承認並びに御可決くださいますようお願い申し上げます。

○議長（腰川日出夫君） 都市建設部長 佐久間静夫君。

（都市建設部長 佐久間静夫君登壇）

○都市建設部長（佐久間静夫君） 都市建設部所管に関わります認定案第3号及び第5号、並びに議案第7号について御説明申し上げます。

初めに、認定案第3号「平成25年度茂原市特別会計下水道事業費歳入歳出決算認定について」御説明申し上げます。

歳入総額15億828万6207円に対し、歳出総額13億600万5715円となり、歳入歳出差引額2億228万492円の黒字決算となりました。

ここから翌年度へ繰り越すべき財源92万8000円を差し引いた実質収支につきましても2億135万2492円の黒字決算となりました。

主な内容を歳入より御説明申し上げます。

1 款分担金及び負担金、収入済額 1 億4918万8000円余につきましては、受益者負担金等でございます。

2 款使用料及び手数料 6 億9186万1000円余につきましては、下水道使用料等でございます。

3 款国庫支出金7016万円につきましては、汚水管渠工事委託等に係る国庫補助金等でございます。

4 款財産収入1304万5000円余につきましては、土地売却収入等でございます。

5 款繰入金 2 億8984万2000万円につきましては、一般会計からの繰入金でございます。

6 款繰越金 1 億3371万7000円余につきましては、平成24年度よりの繰越金でございます。

7 款諸収入5697万1000円余につきましては、接続協力金等でございます。

8 款市債 1 億350万円につきましては、下水道事業債等でございます。

次に、歳出の主な内容について御説明申し上げます。

1 款事業費、1 項管理費、1 目一般管理費 1 億833万1000円余につきましては、下水道使用料の徴収委託料等でございます。

2 目維持管理費 3 億351万7000円余につきましては、処理場の光熱水費、汚泥等の処分委託料、処理場維持管理業務等委託料及び管渠補修工事等でございます。

3 目財政調整基金費 1 億861万9000円につきましては、財政調整基金積立金でございます。

2 項工事費 1 億7598万2000円余につきましては、汚水管渠工事委託等でございます。

2 款災害復旧費933万2000円余につきましては、台風26号による下水道施設災害復旧工事等でございます。

3 款公債費 6 億22万2000円余につきましては、起債の償還元金及び利子でございます。

以上が「平成25年度茂原市特別会計下水道事業費歳入歳出決算」の概要でございます。

次に、認定案第 5 号「平成25年度茂原市特別会計駐車場事業費歳入歳出決算認定について」御説明申し上げます。

歳入総額9848万3131円に対し、歳出総額8895万7527円となり、歳入歳出差引額952万5604円の黒字決算となりました。

主な内容を歳入より御説明申し上げます。

1 款事業収入、収入済額3379万5000円余につきましては、駐車場使用料等でございます。

2 款繰入金5500万円につきましては、一般会計からの繰入金でございます。

3 款繰越金968万5000円余につきましては、平成24年度よりの繰越金でございます。

次に、歳出の主な内容について御説明申し上げます。

1 款事業費、1 項管理費、1 目一般管理費139万7000円余につきましては、消費税等でございます。

2 目施設管理費4329万5000円余につきましては、駐車場の管理委託料及び用地の借上料等でございます。

2 款公債費4426万4000円余につきましては、起債の償還元金及び利子でございます。

以上が「平成25年度茂原市特別会計駐車場事業費歳入歳出決算」の概要でございます。

次に、議案第7号「茂原市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について」御説明申し上げます。

本案は、「中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律」の一部改正に伴い、所要の改正をしようとするものでございます。

改正の主な内容といたしましては、引用している法律の題名を改正するとともに、法の改正の趣旨に沿って、市営住宅の入居資格について、所要の改正をするものでございます。

以上、都市建設部所管に関わります認定案2件、議案1件につきまして御説明申し上げます。よろしく御審議の上、御承認並びに御可決くださいますようお願い申し上げます。

○議長（腰川日出夫君） 経済環境部長 豊田正斗君。

（経済環境部長 豊田正斗君登壇）

○経済環境部長（豊田正斗君） 経済環境部所管に関わります認定案第4号「平成25年度茂原市特別会計農業集落排水事業費歳入歳出決算認定について」御説明申し上げます。

本案は、歳入総額3億4803万6534円に対しまして、歳出総額3億4213万7487円で、歳入歳出差引額589万9047円の黒字決算となりました。

その主な概要につきまして、歳入より御説明申し上げます。

1 款分担金及び負担金400万円でございますが、納入件数8件の受益者分担金でございます。

2 款使用料及び手数料1億2069万7803円でございますが、東郷第一地区、豊岡第一地区、豊岡第二地区及び豊岡第三地区の使用料で、納入戸数は2323戸でございます。

4 款繰入金でございますが、一般会計より1億4664万1000円を繰り入れいたしました。

5 款繰越金につきましては、668万7704円で、前年度からの繰越金でございます。

7 款市債でございますが、下水道事業債を7000万円借り入れいたしました。

次に、歳出について御説明申し上げます。

1 款事業費は、9622万1592円でございます。

その主な事業内容といたしまして、1 項管理費、1 目一般管理費は2964万9708円で、これは

事務事業を執行する人件費及び事務費でございます。

2目施設管理費は6657万1884円で、東郷第一地区外3地区の処理施設及び管路施設の維持管理費でございます。

2款災害復旧費479万8500円は、平成25年10月16日に発生いたしました台風26号の災害に対応したものでございます。

3款公債費2億4111万7395円は、起債の元金及び利子の償還金でございます。

以上が「平成25年度茂原市特別会計農業集落排水事業費歳入歳出決算」の概要でございます。

以上、経済環境部所管に関わります認定案1件につきまして御説明申し上げました。よろしく御審議の上、御承認並びに御可決くださいますようお願い申し上げます。

○議長（腰川日出夫君） 福祉部長 岡澤与志隆君。

（福祉部長 岡澤与志隆君登壇）

○福祉部長（岡澤与志隆君） 福祉部所管に関わります認定案第6号並びに議案第2号、第3号、第4号及び第5号について御説明申し上げます。

初めに、認定案第6号「平成25年度茂原市特別会計介護保険事業費歳入歳出決算認定について」御説明申し上げます。

本案は、歳入合計59億976万926円に対し、歳出合計56億8893万5302円で、歳入歳出差引残額2億2082万5624円の黒字決算となりました。

歳入の主な内容について御説明申し上げます。

1款介護保険料につきましては、収入済額12億7364万1250円、徴収率94.92%となっております。

3款国庫支出金は、介護保険給付費に対する国庫負担金として10億350万円、国の調整交付金として1億5772万9000円、地域支援事業交付金のうち介護予防事業に係るものとして1139万9619円、包括的支援事業・任意事業に係るものとして2268万2199円等、合わせて11億9548万3818円でございます。

4款支払基金交付金は、社会保険診療報酬支払基金からの交付金ですが、介護給付費交付金の現年度分15億4572万1000円、地域支援事業支援交付金として1517万4000円等、合わせて15億6467万8199円でございます。

5款県支出金は、介護給付費負担金7億7862万5000円、地域支援事業交付金として、介護予防事業分569万9809円、包括的支援事業・任意事業分1134万1099円、合わせて7億9566万5908円でございます。

8 款繰入金は、8 億9203万2000円、内訳といたしましては、一般会計からは、介護給付費分 6 億8734万2000円、地域支援事業として介護予防事業分913万8000円、包括的支援事業・任意事業分1376万6000円、運営費繰入金 1 億5479万円を繰り入れし、基金繰入金2699万6000円につきましては、保険給付費充当分として給付費準備基金からの繰り入れでございます。

9 款繰越金は、1 億8231万7844円、こちらは前年度からの繰越金でございます。

次に、歳出の主な内容につきまして御説明申し上げます。

1 款総務費は、支出済額 1 億5579万1673円で、主なものといたしましては、1 項 1 目一般管理費の一般職人件費9968万8157円、介護保険電算システム事業2003万1332円でございます。

3 項 1 目介護認定審査会費は、長生郡市広域市町村圏組合介護認定審査会負担金1244万6000円でございます。

2 款保険給付費は、支出済額53億2394万8434円で、前年比5.0%、金額で 2 億5470万8519円の増加でございます。

保険給付費の主なものといたしましては、1 項 1 目居宅介護サービス給付費24億3673万5308円、1 項 2 目介護予防サービス給付費 1 億6330万1609円、1 項 3 目地域密着型介護サービス給付費 4 億5814万6630円、1 項 4 目施設介護サービス給付費16億6782万5936円、1 項 7 目居宅介護サービス計画給付費 2 億6913万8790円、4 項 1 目特定入所者介護サービス費 1 億6908万6427円でございます。

3 款地域支援事業費は、支出済額 1 億428万2881円でございます。

地域支援事業費の主なものといたしまして、1 項 1 目介護予防事業費のうち、二次予防事業 1135万5333円、2 項 2 目任意事業費のうち家族介護支援事業227万7975円、地域自立生活支援事業290万6887円でございます。

4 款基金積立金は、今後の保険給付の増加等に対応するため、介護給付費準備基金積立金として5248万1000円の積み立てを行ったものでございます。

以上が「平成25年度茂原市特別会計介護保険事業費歳入歳出決算」の概要でございます。

次に、議案第 2 号「平成26年度茂原市特別会計介護保険事業費補正予算（第 1 号）」について御説明申し上げます。

本案は、歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ43万1000を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ61億1744万円にしようとするものです。

その内容を歳出より申し上げます。

1 款総務費につきましては、長生郡市広域市町村圏組合に対する負担金の減額に伴い、介護

認定審査会負担金を43万1000円減額するものです。

次に、歳入につきましては、8款繰入金、1項一般会計繰入金を43万1000円減額するもの
でございます。

次に、議案第3号、第4号、第5号につきまして御説明申し上げます。

本3議案は、幼児期の学校教育・保育の総合的な提供、地域の子ども・子育て支援の充実を
目的とした「子ども・子育て関連3法」の公布により、本市においても各事業における基準等
の条例を制定するものでございます。

初めに、議案第3号「茂原市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する事業を定める条例の
制定について」御説明申し上げます。

本案は、原則、定員19人以下でゼロ歳から2歳児の家庭的保育事業等について、国の定める
基準を踏まえ、認可にあたっての設備及び運営に関する基準を制定しようとするものでござい
ます。

次に、議案第4号「茂原市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準
を定める条例の制定について」御説明申し上げます。

本案は、地域型保育事業と「特定教育・保育施設」に関して、給付対象となるための確認、
指導監督を行うため、「利用定員」・「運営」に関する基準を制定しようとするものでござい
ます。

次に、議案第5号「茂原市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条
例の制定について」御説明を申し上げます。

本案は、児童福祉法の改正により、放課後児童健全育成事業であります、いわゆる「学童ク
ラブ」の実施に際し、その「安全基準」・「放課後児童支援員の設置基準」等を制定しよう
とするものでございます。

以上、福祉部所管に関わります認定案1件、議案4件につきまして御説明申し上げました。
よろしく御審議の上、御承認並びに御可決いただきますようお願い申し上げます。

○議長（腰川日出夫君） 以上で提案理由の説明を終わります。

————— ☆ ————— ☆ —————

休 会 の 件

○議長（腰川日出夫君） 次に、議事日程第4「休会の件」を議題とします。

お諮りします。明4日から9日までは、議案等調査のため休会としたいと思いますが、御異
議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(腰川日出夫君) 御異議ないものと認めます。したがいまして、そのように決定をいたしました。

次の本会議は10日午前10時から開き、一般質問を行います。

本日は以上で散会します。御苦労さまでした。

午前11時20分 散会

☆

☆

○本日の会議要綱

1. 会議録署名議員の指名
2. 会期の決定
3. 認定案第1号から第7号並びに議案第1号から第8号までの上程説明
4. 休会の件

○出席議員

議長 腰川 日出夫 君

副議長 鈴木 敏文 君

1番	飯尾 暁 君	2番	小久保 ともこ 君
3番	田畑 毅 君	4番	山田 広宣 君
5番	平 ゆき子 君	6番	道脇 敏明 君
7番	佐藤 栄作 君	8番	前田 正志 君
9番	矢部 義明 君	10番	金坂 道人 君
11番	中山 和夫 君	12番	山田 きよし 君
13番	細谷 菜穂子 君	14番	森川 雅之 君
16番	ますだ よしお 君	18番	伊藤 すずむ 君
19番	深山 和夫 君	20番	三橋 弘明 君
21番	初谷 智津枝 君	22番	竹本 正明 君
23番	常泉 健一 君	24番	市原 健二 君

☆

☆

○欠席議員

なし

☆

☆

○出席説明員

市 長	田 中 豊 彦 君	副 市 長	永 長 徹 君
教 育 長	古 谷 一 雄 君	総 務 部 長	麻 生 英 樹 君
企 画 財 政 部 長	三 浦 幸 二 君	市 民 部 長	矢 澤 邦 公 君
福 祉 部 長	岡 澤 与 志 隆 君	経 済 環 境 部 長	豊 田 正 斗 君
都 市 建 設 部 長	佐 久 間 静 夫 君	教 育 部 長	鈴 木 健 一 君
総 務 部 次 長 (総務課長事務取扱)	十 枝 秀 文 君	企 画 財 政 部 次 長 (財政課長事務取扱)	酒 井 宗 一 君
市 民 部 次 長 (市民課長事務取扱)	野 島 宏 君	福 祉 部 次 長 (高齢者支援課長事務取扱)	片 岡 修 君
経 済 環 境 部 次 長 (商工観光課長事務取扱)	西ヶ 谷 正 士 君	都 市 建 設 部 次 長 (土木建設課長事務取扱)	石 和 田 久 幸 君
都 市 建 設 部 次 長 (下水道課長事務取扱)	小 倉 勝 彦 君	教 育 部 次 長 (教育総務課長事務取扱)	藤 乘 裕 喜 君
職 員 課 長	三 橋 勝 美 君	企 画 政 策 課 長	鶴 岡 一 宏 君

☆

☆

○出席事務局職員

事 務 局 長	相 澤 佐
主 幹	河 野 宏 昭
局 長 補 佐 (庶務係長事務取扱)	佐 久 間 尉 介